

日時：令和7年3月27日（木） 19時から 場所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：齋藤、桐山、大平、吉波、渡邊、塚田、水島、中川、堀口、丁子、田中、能登、小倉、森、
欠席者：小倉

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 教育局（能登理事）

・生涯教育について

令和7年度は現職者共通研修のテーマ1～8まではeラーニングでの実施とし、協会で公開されているものを活用する。その他のテーマについては例年通りの方法で実施する。

これらも含めた新生涯教育制度についてや登録および認定作業療法士に関する情報提供については能登理事が書面を整えた後、塚田理事に連絡する。

2) 富山県作業療法学会

・令和8年3月1日 広報誌の案内

講師依頼終了。広報誌の大枠が完成（資料参照）。今後は演題募集、運営協力依頼など種々の準備を進めていく

・令和6年度の県学会実施報告(アンケート結果は資料参照)

参加者176名で例年と比較するとやや多く、内容・運営ともにおおむね好評であった。

3) 生活作業療法委員会

1月26日 地域リハ実践研修会（応用編）開催

・参加者22名 参加者の顔ぶれは変わらず。若い層の参加促進などの対策が課題。

・新川地区で意見交換会が開催された（大平理事出席）

4) 災害リハビリテーション研修会

3月12日（水）19時から 講師：渡辺理事

・参加者20名 参加者は委員が中心であり、他の参加促進については課題である

・青池学園の次年度カリキュラム編成会議に齋藤会長が出席。国試で災害リハの問題あり、今後はこういった分野への関心が高まる事に期待。

5) 2025年度功労表彰対象者（資料参照）

該当者15名

該当者への連絡は例年3役で分担していたが、負担が大きいため、各理事に振り分けることとする。
近日中に吉波理事が分担表を作成し、全理事に通知する。

6) 2024年度退会者（資料参照）

32名の退会者あり。退会理由には、委員会活動への負担、研修会等への参加困難などあり。これら

について、会員同士の繋がりの強化、育児世代の参加促進、作業療法士の社会的地位をあげるなど、県士会所属の意義や価値、活動への参加のしやすさなどの対策が必要になると考えられる。LINEやオープンチャットの活用など、手軽に参入できる方法も模索する必要あり。

今後隨時検討していく。

2. 日本作業療法士協会関連

1) よんぱち

- ・3月2日 塚田事務局長、大平副会長、桐山副会長 出席(資料は県士会グーグルドライブ内にも保存)
協会と県士会双方の情報共有機会が少ない、どの県士会も組織率の低さは課題としているなどの課題あり

他県士会と情報共有する機会、当理事会内での情報共有や検討場面などの機会を増やす必要を感じた

2) 倫理委員会

- ・3月1日 丸本氏 出席。別紙参照。

各士会の委員会設置状況・立ち位置的なものがそれぞれ異なっている。当士会においては、新たな委員を加えるかなどの提案もされたが、今後の組織運営をみながら検討していくこととする。

3) 地域事業支援会議

- ・3月9日開催。大平・水島・池畠・市森の4名が参加。詳細は後日送付される議事録参照(水島)
協会HPに種々情報を載せていくので、適宜確認を。
- ・3月31日 東海北陸のCブロック会議開催予定。水島理事出席予定。

4) 令和7年度 OT協会定時社員総会

- ・5月31日(土) 13時から 代議員の参加をお願いしたい。

3. 富山県関連

1) 産保研究

3月18日 斎藤、渡邊氏、野田氏 出席

3月24日 渡邊氏、野田氏 出席

運転とリハビリに関する内容の問い合わせについては丁子氏・佐々木氏が書面にて対応済

4. 東海北陸

1) 東海北陸学会

令和8年1月10日～11日 ウインクあいち：マーリングリストにて案内済

5. 検討事項

1) 令和7年度 総会について

(1) 新人向け紹介文(別紙参照)

- ・内容の取り纏めや新入職員への案内文を作成し、総務に提出する(桐山)

- ・令和7年度の新入会員の配属は、オープンチャットを通じて各部会・委員会・学会などの担当者が情報を発信し、実際に委員会や研修会などに参加してもらうなどした上で希望を募り、決定する。
 - ・部会・委員会紹介文について、現在委員を募集する部会・委員会が中心の掲載となっているが、士会活動の紹介を必要とするのであれば、他の部会・委員会にも記載してもらう必要がある。令和7年度は書類送付に間に合わないため、例年通りとするが、今後は他の部会・委員会の掲載を行うかどうかも検討していく。
 - ・組織図を配布資料に同封し、どういった部会・委員会があるか把握してもらうこととする。
資料は塙田理事から総務に提出する。
- (2) 予算案再提出について：各担当者から修正されたものが提出され、財務にデータ送付済。
- (3) 総会運営（時間と会場、準備）：左記について確認した。会場設営や駐車場案内は教育部や理事にも協力してもらう
- (4) 総会資料：各理事・監事は担当部門の内容を確認・修正し、総務の羽田野氏へ提出する。
締め切りは4月13日だが、出来るだけ早めの提出とする。

2) 被災会員の会費免除規程について（別紙参照）

理事会にて承認が得られたため、令和7年度からの運用とする。

今回の能登半島地震の被災者については対応できるよう取り計らう。

3) 財務業務に関する交通費について（別紙参照）

これまで入出金や物品購入時には交通費など支払われていなかったが、これらの負担は大きいため、今後は交通費を支払う事とし、令和7年度から運用する。

次回理事会：4月 17日 19時より